

2015年2月12日  
【第6回知の市場年次大会】  
科目と連携機関

## サイエンスコミュニケーション実践論 リスクコミュニケーション入門

筑波大学／日本サイエンスコミュニケーション協会

日本サイエンスコミュニケーション協会  
理 事 高安 礼士(千葉市科学館)

1

## 一般社団法人 日本サイエンスコミュニケーション協会

設立:2012年1月

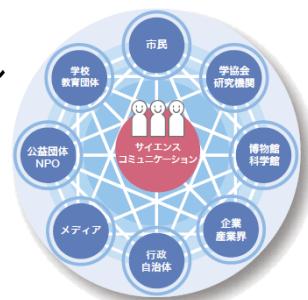
設立趣旨:

サイエンスコミュニケーションを促進することにより、社会全体のサイエンスリテラシーを高め、人々が科学技術をめぐる問題に主体的に関与していくける社会の実現に貢献します。

設立時代表理事 有馬 朗人  
設立時理事 縣 秀彦  
設立時理事 小川義和  
設立時理事 北澤 宏一  
設立時理事 北原 和夫  
設立時理事 田代 英俊  
設立時理事 高安 礼士  
設立時理事 美馬 のゆり  
設立時理事 渡辺 政隆  
設立時監事 尾嶋 好美  
設立時監事 真山 武志

## JASCの活動

- 協会誌発行
- 年会・例会・特別研究会開催  
例) 2012年12月1-2日 第1回年会開催
- ネットワークの形成
  - ・イベントでの連携  
例) サイエンスアゴラ  
東京国際科学フェスティバル  
理科好き市民主催のカフェ
  - ・地域グループの連携  
例) 静岡科学館る・く・る



## サイエンスコミュニケーションの方向性

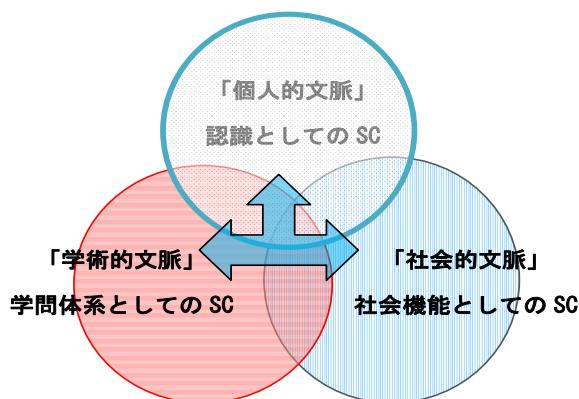
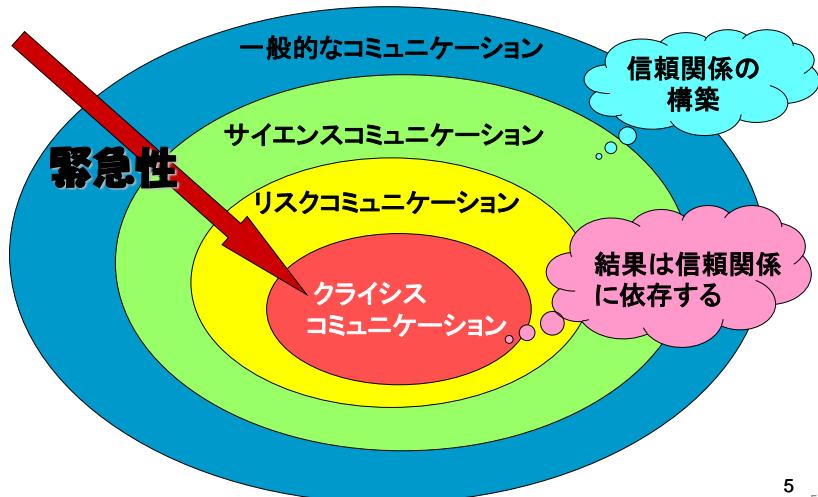


図-1 サイエンスコミュニケーション活動の展開の方向

## サイエンスコミュニケーションと リスクコミュニケーション



5 5

2015年2月12日  
【第6回知の市場年次大会】  
科目と連携機関

サイエンスコミュニケーション実践論(筑波大学)  
リスクコミュニケーション入門(筑波大学)  
サイエンスコミュニケーション実践論a、b(千葉市科学館)

筑波大学／日本サイエンスコミュニケーション協会  
千葉市科学館

日本サイエンスコミュニケーション協会  
理 事 高安 礼士(千葉市科学館)

6

## 開講講座(実績)

### 2012年後期～2014年前期期 サイエンスコミュニケーション実践論

サイエンスコミュニケーションの拡がり	サイエンスコミュニケーションの理論 天文台・科学博物館におけるSC サイエンスアート
産業技術と社会	産業技術誌概論 科学技術と社会の関係 先端技術と社会の関係
SCの理論と技術	サイエンスコミュニケーションのデザイン サイエンスライティング
サイエンスコミュニケーションの実践	演習 サイエンスカフェ

### 2013年前期・2014年後期 リスクコミュニケーション入門

リスクコミュニケーションとは	リスクコミュニケーションの位置づけ リスクコミュニケーション手法について
事例研究	感染症 くすりのリスクと副作用 遺伝子組換え作物・食品 リスク報道
リスクコミュニケーションの実践	リスク情報の伝え方 リスクコミュニケーションのデザイン 演習

JASC共催

### サイエンスコミュニケーション実践論 @筑波大学東京キャンパス

担当：渡辺政隆（筑波大学/JASC）

4月13日（月）18:30 開講（全10回）

\*豪華ゲスト講師陣を予定

1. 4/13 サイエンスコミュニケーションの実践（渡辺）
2. 4/20 国立科学博物館におけるSC活動（小川義和 国立科学博物館）
3. 4/27 科学技術政策と社会（三木清香 文部科学省）
4. 5/11 大学による地域連携科学活動（千葉和義 お茶の水女子大学）
5. 5/18 産業技術誌概論（亀井修 国立科学博物館）
6. 5/25 サイエンスカフェ I（佐々義子 くらしとバイオ21）
7. 6/1 サイエンスカフェ II（菱田裕美 WEcafe）
8. 6/8 アートコミュニケーション（伊藤達矢 東京藝術大学）
9. 6/15 先端技術と社会（高安礼士 千葉市科学館）
10. 6/22 サイエンスフェスティバル（渡辺）



JASC共催  
**リスクコミュニケーション入門**

10月5日（月）～1月18日 毎回18:30～開講（全10回）

担当：渡辺政隆 筑波大学/JASC

1. 10/5 SCとRC (高安礼士 千葉市科学館)
2. 10/19 ツールを用いたRC (真山武志 NPO法人くらしとバイオプラザ21)
3. 10/26 組み換え食物をめぐるRC：企業の立場から (佐々木幸枝 日本モンサント)
4. 11/10 生協活動を中心としたRC：消費者と事業者両面の立場から (鬼武一夫 日本生活協同組合連合会)
5. 11/9 くすりをめぐるRC (藤原昭雄 くすりの適正使用協議会)
6. 11/16 感染症をめぐるRC (岡部信彦 川崎市衛生研究所)
7. 11/30 CSR活動を中心としたRC (佐藤篤史 製薬工業会)
8. 12/7 医療をめぐる個人情報・遺伝情報 (堤正好 個人遺伝情報取扱協議会)
9. 12/14 食品をめぐるRC (ジェームス・マリアンスキー 元米国FDA/  
飯島みどり アメリカ大使館農務部)
10. 1/18 リスク情報の伝え方：まとめ (佐々義子 NPO法人くらしとバイオプラザ21)

**サイエンス・コミュニケーション入門**  
連携機関名：千葉市科学館/日本サイエンスコミュニケーション協会

**前期講座 サイエンスコミュニケーションの理論**

1. (5/16)サイエンスコミュニケーションの理論
2. (6/20)産業技術と社会コミュニケーション
3. (7/18)サイエンスコミュニケーションのデザイン

**後期講座 サイエンスコミュニケーションの実践**

1. (9/19)サイエンスカフェ実践 I
2. (10/17)サイエンス・ライティング
3. (11/21)科学技術政策と社会

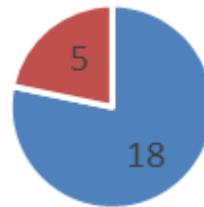
## 2014年度開講実績表

開講機関	千葉市科学館	
科目名:	サイエンスコミュニケーション実践論a	
1. 応募・受講・修了者と講師数		
項目	人数(名)	備考
応募者数	23名	
受講者数	18名	前期3回のうち一度でも参加した受講者数を記載
修了者数		
科目担当講師数	1名	

11

## 2014年度開講実績表

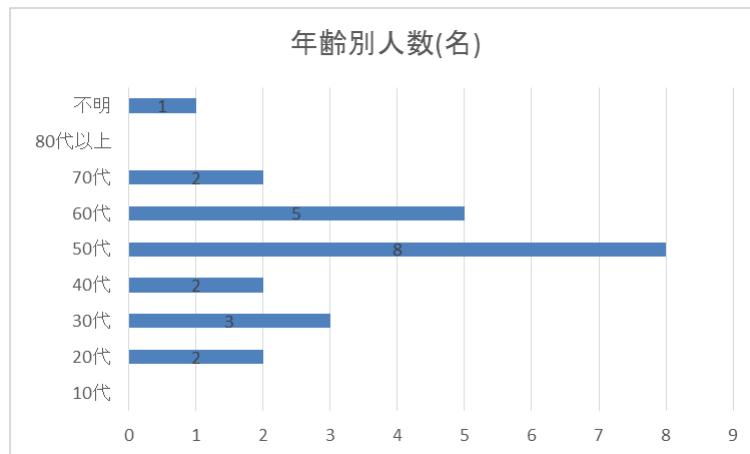
男女比・人数(23名)



■ 男性 ■ 女性

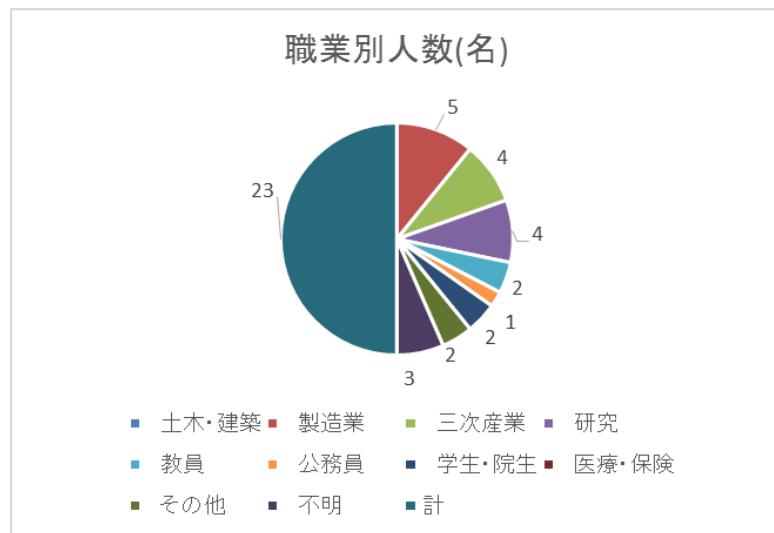
12

## 2014年度開講実績表



13

## 2014年度開講実績表



14